

徳島小松島港における生物共生方策 に関する検討会(第3回)

今後の予定

令和7年7月24日

国土交通省四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所

1. 検討体制（案）と検討会開催予定（案）
2. 取組推進連絡網（サポーターズ）
3. 事務局等による持続可能な連携推進の試行
4. 今後の検討会の計画（案）
5. 今後のスケジュール（案）

5. 今後の予定

1. 検討体制（案）と検討会開催予定（案）

- ◆これまでの検討を踏まえ、実証試験にかかる港湾構造物の設置の実施計画を検討し、事前調査およびモニタリング等を実施する。
- ◆設置工事は、小松島港湾・空港整備事務所の港湾整備事業と並行して実施する。
- ◆順応的な対応や地域の取組と連携した持続可能な利活用を試行するため、「取組推進連絡網」を整理する。
- ◆「取組推進連絡網」は、本取組の推進・拡大を、自らの取組と連携して実践・支援するサポーターの連絡網であり、通称「サポーターズ」と呼ぶ。
- ◆次回検討会は、令和7年12月～令和8年1月頃に開催予定である。

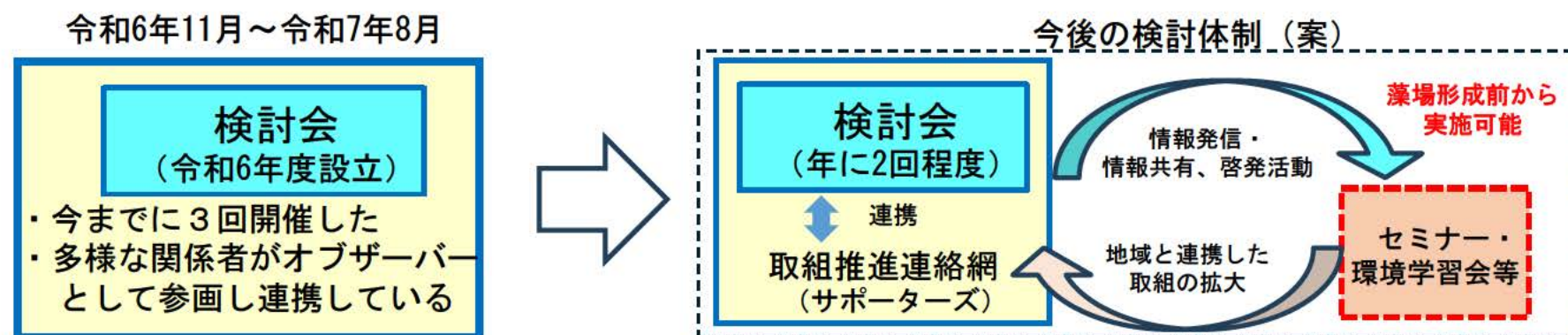


図1-1 今後の検討体制（案）

5. 今後の予定

2. 取組推進連絡網（サポーターズ）設置案

- ◆取組推進連絡網（サポーターズ）は、本検討の順応的な対応や、地域の取組と連携した持続可能な利活用の準備として、**専門家および地域の方や地域団体等**との連携体制を試行するものである。
- ◆連絡窓口は、四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所（工務課）とする。
- ◆サポーターは、本取組の推進・拡大を**自らの取組と連携して実践・支援できる**方および団体とする。
- ◆当面、サポーター登録は本検討会に参画している委員・オブザーバーおよびその関係者とする。
- ◆検討会の開催時期に関わらず、**地域の環境活動に寄り添って**、情報共有や情報発信、啓発活動を行う団体や人のサポートを行うとともに、**サポーター間の緩やかなつながりの持続**を目的とする。

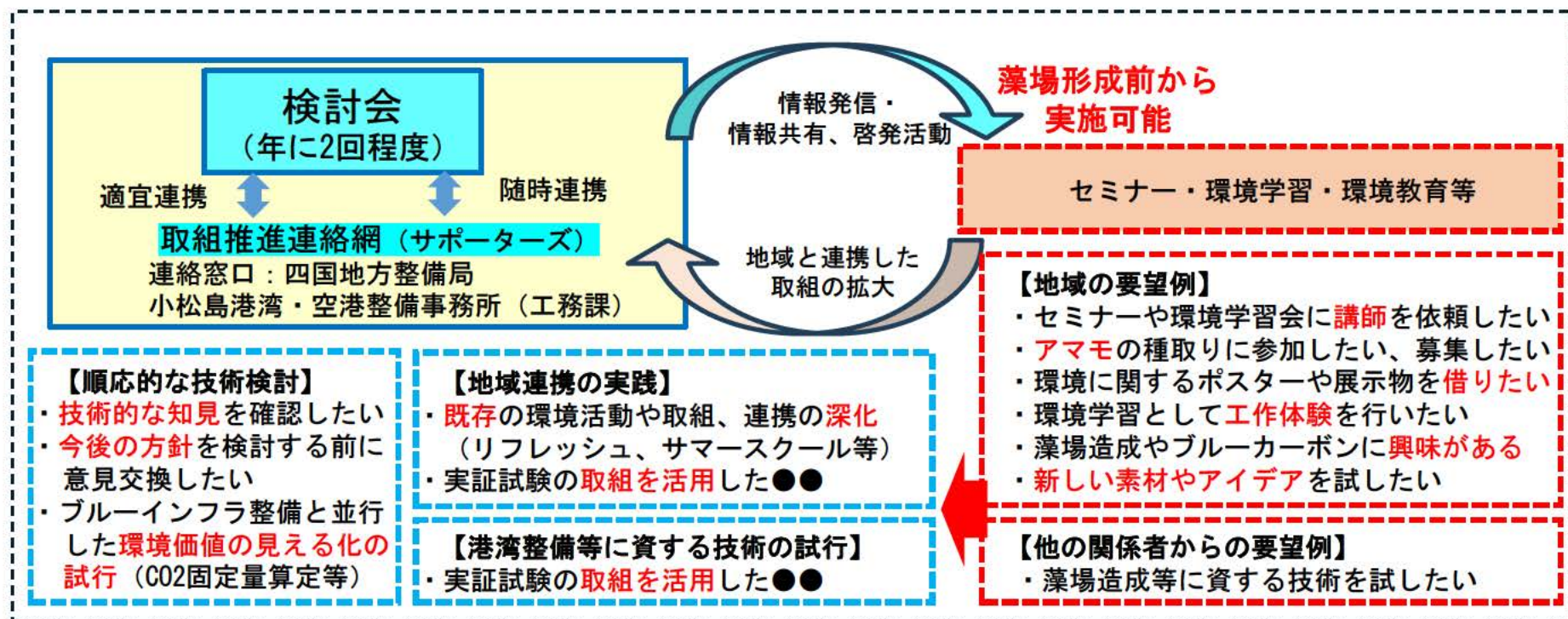


図2-1 取組推進連絡網の詳細（案）

5. 今後の予定

3. 事務局等による持続可能な連携推進の試行（1）

◆検討会の検討状況や成果を、地域の環境学習会やイベント等で情報発信・情報共有するとともに、アンケートを行い、得られた情報からPR効果・学習効果を確認するとともに、地域連携の推進方法を検討する。

Plan：理解醸成に向けた検討

◎検討会の取り組みの共有

- ・リサイクル材を活用
- ・海域環境の創造
- ・地域と連携した利活用
- ・気候変動対策に資するブルーインフラ整備（港湾区域内）
- ・ローカルSDGsの達成（地域の課題）

キャラクター・ロゴの活用



・こまぽん

（小松島港湾・空港整備事務所）

Do：PR方法の検討・実施

○HP掲載、SNS活用

○サポーターズと協働・共創

○パンフレット、冊子

○環境クイズ

○展示：パネル、のぼり

○学習会・イベント参加、ノベルティグッズ頒布

○シンポジウム等の開催

Act：PR方法の見直し・更新

○検討会等

○事務局間における
情報共有・連携

Check：PR効果の確認

○アンケート実施⇒解析

○SNS発信等確認



・アマモン（着ぐるみ）

NPO法人海辺づくり研究会
において管理（写真はHPより）

図3-1 地域の連携推進方策（案）

5. 今後の予定

3. 事務局等による持続可能な連携推進の試行（3）

◎乗船による現地見学、環境学習



港湾業務艇
「ひのみね」



津田地区 沖洲防波堤

◎陸域からの見学等



日峯神社から眺める小松島港



エメラルド色に輝く小神子海岸



アジアカエビのパスタ

海への親しみや海の環境への関心を広げ、
取り組みへの理解醸成を推進する

クレジットを活用した先行事例紹介（今後の予定）



Jブルークレジット®購入者を対象とした報告会とワカメ刈り等体験会（JF鳥羽磯部漁協）

図3-3 理解醸成の推進例

5. 今後の予定

4. 今後の検討会の計画（案）

- ◆検討会の開催は、これまでの開催形式や参加状況を踏まえ、対面を主としたWEB併用のハイブリッド形式とする。
- ◆現地見学会や環境活動に関する事例紹介を積極的に取り入れる。
- ◆今後は、開催頻度は年2回程度とし、次回検討会は令和7年12月～令和8年1月頃に開催予定である。

表4-1 検討会のスケジュールと主な議題（予定） 当初予定からの変更点を朱記

検討会	開催時期	開催方式	議 題（案）
第1回	令和7年2月	WEB併用の ハイブリッド形式	・設置趣旨、先行事例の整理 ・生物共生方策の基本的な考え方（目的、目標等） ・海域環境の特徴、現地調査計画（案）の審議 ・浚渫土砂活用による藻場造成の考え方
第2回	令和7年5月	WEB併用の ハイブリッド形式	・第1回検討会の意見と対応 ・現地調査結果の報告 ・地域の海域環境に関する取組紹介（現地見学）
第3回	令和7年7月	WEB併用の ハイブリッド形式	・第2回検討会の意見と対応とカルシア改質土の特性と活用事例紹介 ・現地調査結果の報告 ・リサイクル材を活用した実証試験（案）の審議 ・モニタリング計画（案）の審議 ・今後の検討（案）の審議（現地見学）
第4回	令和7年12月 ～令和8年1月	WEB併用の ハイブリッド形式	・第3回検討会の意見と対応とヒアリング等報告 ・実証試験実施計画（案）の審議 ・事前調査およびモニタリング実施計画（案）の審議 ・地域連携方策の検討 ・海域環境に関する取組紹介（ブルーカーボンの説明、事例紹介）（現地見学）
第5回	令和8年7月	WEB併用の ハイブリッド形式	・第4回検討会の意見と対応 ・現地調査結果の報告 ・海域環境に関する取組紹介（藻場造成等の事例紹介） ・今後の検討（案）の審議（現地見学）

5. 今後の予定

5. 今後のスケジュール（案）

◆検討会および連携活動のスケジュール（案）は以下の通りである。

表5-1 今後の検討スケジュール（予定）

